



年 組 名前

# 道新でワークシート

## 首脳会談へ 連帯、支援伝達



ウクライナ・キーウ近郊ブチャの教会を訪れた岸田首相（中央）＝21日（共同）

首相は会談に先立ち、民間人多数が虐殺されたキーウ近郊ブチャを訪れ、記者団に「ウクライナの平和を

取り戻すため最大限の支援を行いたい」と述べた。

安全確保を理由に事前公表せず、訪問先のインドか

【キーウ共同】岸田文雄首相は21日、ウクライナの首都キーウ（キエフ）を電撃訪問した。ゼレンスキー大統領と会談し、連帯と揺るぎない支援を直接伝える。訪問は昨年2月のロシアによる侵攻開始後、初めて。首相が議長を務める5月の先進7カ国首脳会議（G7広島サミット）を前に対応を協議し、法の支配に基づく国際秩序を守り抜くとの決意を確認する。日本の首相が紛争地に入るのは極めて異例だ。

# 首相キーウ訪問

ら帰国する予定を変更。ポーランド経由で航空機や鉄道を乗り継ぎウクライナ入りし、21日正午過ぎ（日本時間同日夜）、キーウの駅に到着した。インドからチャーター機でポーランドに入り、ウクライナとの国境に近いプシエミシルから列車に乗ったとみられる。

外務省によると、ゼレンスキー氏との会談では、祖国防衛に立ち上がっているウクライナ国民の勇氣と忍耐に敬意を表明。ロシアの侵攻と力による一方的な現状変更を断固として拒否する考えを共有する。

ウクライナ侵攻はサミットの主要テーマとなる。首相はゼレンスキー氏との会談結果も踏まえて議長として議論を主導し、G7の結束を国際社会に示したい考えだ。

訪問には木原誠二官房副長官、秋葉剛男国家安全保障局長らが同行した。首相は22日にポーランドに戻って首脳会談を行い、23日朝に帰国する。

2023年 3月22日（水）朝刊 全道版 1ページ（記事は再編集しています）

- ① 岸田首相がゼレンスキー氏との会談に関わって考えていることを、記事の中から読み取って書きましょう。
- ② 日本でも、1950年代に竹島が不法に占拠され現在でも警備隊が常駐しており、北方領土はロシアが不法に占拠している状態が続いています。また、最近では23年度から防衛費の段階的な増額も決まりました。これからの日本の安全と防衛、国際貢献を含む我が国の役割はどうあるべきか、あなた自身の考えを書きましょう。